

忠臣蔵

活弁 × 即興演劇 × 歌謡ショー
を組み合わせて忠臣蔵を説明する!?
前代未聞の新演出!

忠臣蔵は、江戸時代元禄期に起きた赤穂事件という実話を基に戯曲化された日本を代表する物語。人形浄瑠璃、歌舞伎、講談、映画などで現代も日本人の心を掴んで離さない。

活弁は、無声映画を上映するスクリーンの脇で、登場人物の声色やナレーションを一人で語り分ける日本独自の伝統話芸。本公演では、日本屈指の名画『実録忠臣蔵』を活弁で魅せます!

日時：令和元年十二月十四日(土)
一部：午後二時開宴
二部：午後六時開宴
会場：文化シャッターBXホール
料金：五千円(税込)

お問い合わせ
03-3947-3016 (オフィスK)
info@katsuben.com (あそう活弁)



よしだ もみじ (歌手・俳優・タレント)

CMタレントとして芸能界入りし、シャンソン歌手としてデビュー。その後、歌って踊って話せるマルチタレントとしてTV・舞台で活躍。ディナーショーをはじめ、あらゆるイベントの司会はもちろん、舞台役者・映画俳優・そしてコメディアンとしても活躍。プロ和太鼓チーム「太鼓打魁」を主宰。国内のみならず世界各地にて公演を行う。よしだもみじソロCD「幸せいっぱい七福神」などがある。



麻生 八咫 (やた) (活弁士)

1952年生まれ。獨協大学卒業後、一人芝居「日傘と剃刀」を全国400回公演。活弁士・池俊行師の活弁「坂本龍馬」との感動の出会いにより活弁士となる。1995年文化庁主催「ジャパン映画フェスティバル」(イタリア)活弁公演を行う。1998年活弁界初の文部大臣賞受賞。2005年「活弁教室」を開始、現在も台東区社会教育センターで月に一度行い、後進の指導に務める。著作『映画ライブ それが人生』(高木書房、2009) 麻生八咫・子八咫共著。朗読CD『名人伝/山月記』(中島敦作) 語り・麻生八咫などがある。



麻生 子八咫 (こやた) (活弁士)

1985年生まれ。父・八咫の公演を観て育ち、10歳で浅草木馬亭よりデビュー。2003年11月第48回文部科学大臣杯全国青年弁論大会・文部科学大臣賞受賞。2008年4月高校の英語の教科書「All Aboard!!」(東京書籍)に、「A Young Katsubenshi」として登場。2013年3月東京大学大学院修士課程修了。2015年11月日本弁論連盟理事就任。英語活弁、方言活弁、舞台脚本、司会等、さまざまな舞台活動を行なっている。

スペシャルゲスト

能楽狂言方の家に生まれ、3歳で初舞台。舞台・映画・ドラマ・TV等幅広いジャンルで活躍。



会場：文化シャッターBXホール

(三田線春日駅A5・A6出口から徒歩3分、南北線後楽園駅8番出口から徒歩7分、丸ノ内線後楽園駅4b出口から徒歩12分、総武線水道橋駅から徒歩15分)



して
つて
る?
?